
感情

貂寡

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

感情

【Nコード】

N8900E

【作者名】

貂寡

【あらすじ】

夏休みが始まり・・・そして家族との時間が増える。しかし私の元には・・・感情しか残らなかった。

最近無性にイライラすることが多くなった。

親の言動にもニュース番組にも、そして自分自信にも、腹が立つと毎回人を殺したくなった。

包丁で刺したり、電気コードで首を絞めたりしたくなった。

そして、そんな自分を鏡で見る度に途方も無い絶望と深い拒絶を含む吐き気がした。

もしかしたら幾度か吐いてしまったのかも知れない。

しかし、そんな記憶さえ曖昧で事実感が無い。

胸が苦しい、頬が濡れた。

悲しみがいくらか表に出てしまったようだ。

自分と言う存在が憎い、家族の中にはいけないような気さえする。

楽しい話をしているつもりでも「意味がわからない」と、否定される。

その言葉を聞く度に途方もない悲しみが沸いてくる。

いつからか私が話をするたびに親がイラつき出した。

それを見ると、私に不安と苦しみが訪れ涙が流れる。

そして何事も無かったように私の部屋に訪れる親。

何でそうやって変な愛し方、いや実際・・・愛されてない気がする。

何で・・・どうして。

悲しむ私や苦しむ私を見てそんな態度でいられるの？

よく分からない、親の心境なんて・・・

だって、話すとイラつかせ私が億劫になる。

そうなると私に甘えてくる。

普通、逆じゃない？

甘える特権は私たち子供が持つてるはずでしょ・・・

なのに親が甘えてどうするの？

甘えられる子供の気持ちはどうしたら良いの！

そして、

今日も親を見る度に起こるイラつきと妄想、嫌悪感、

寂しさと悲しさ、喪失感が入り交じり、私は吐き気と涙をこらえる。

毎日の繰り返し。

夏休みって言ってもなにもない。

ただ吐き気と涙を夜な夜なこらえる私が一人部屋に隠る。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8900e/>

感情

2011年10月4日15時06分発行